

2016年
11月22日
NO 3

全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国OB会
発行人 藤原博之
編集人 竹之内義方

2016全国高齢者集会開催 !!

生き生きと安心して暮らせる社会つくろう！

2016全国高齢者集会は、全国から日本退職者連合の会員2000名が参加して9月28日、13時から文京シビックホール(都内文京区)で開かれました。

JR 総連 OB 連絡会として参加し、JR 貨物労組 OB 会から5名が集会に参加しました。

集会は、主催者を代表して日本退職者連合の阿部保吉会長があいさつで「安倍政権が進める医療・介護保険制度の改悪の動きに警鐘を鳴らすとともに、年金積立金の株式投資は直ちに中止すべきです。その上で政府は、雇用制度を抜本的に改善し、正規雇用労働者を拡大することにより年金財政の安定を図るべきです。年金・医療・介護などの社会保障制度は、政府の審査会等を経て国会で審議決定されます。退職者連合は、高齢者が心豊かに暮らすことのできる社会を目指し、連合との政策調整と連携を強めながら、各級選挙では退職者連合の総力を結集して闘います」と決意を明らかにしました。

来賓あいさつで連合の神津里季生会長からは「退職者連合の熊本地震被災の救援カンパや参議院選挙での取り組みについて、触れ、連合候補勝利のために全国津々浦々で現役に勝るとも劣らないご活躍をいただいた事に私の立場からも改めて敬意を表したい」と感謝を述べ引き続き、「現退連携して政治の流れを変える取り組みを強めたい」と決意を明らかにしました。

臨時国会開催中にもかかわらず駆けつけた民進党の野田佳彦幹事長、社民党の福原みずほ副党首からそれぞれ挨拶を頂きました。

基調報告について、退職者連合の菅井義夫事務局長が「国民の暮らしを置き去りにした、将来への希望を奪うアベノミクス、経済優先の政策は明らかに方向が間違っている。先細りさせられる社会保障制度、安心して暮らせる社会のために、安倍政権の政治姿勢を正すため、日本退職者連合83万組織の連帯・絆を強めて、行動する日本退職者連合にしていこう」と問題提起されました。

JR 総連 OB 連絡会・JR 東労組千葉地本 OB 会の相川好夫さんは、真っ白な制服・制帽の駅長姿で登場。参加者に敬礼をしてから、「元気にボランティア活動」について、千葉・房総半島にある「ハイキングコース・花嫁街道」の整備やガイドのボランティア活動を36年間にわたり続けていると活動報告を行いました。

集会の最後に「生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう」のスローガンと「長寿をみんなで喜びあえる社会にするため、中央・地方の連帯を強め、地道ではあっても粘り強く闘い進もうとの集会アピールを参加者全員の拍手で採択しました。

集会後、参加者は今年からアピール力を高める狙いで鳴り物(タンバリン、カスタネット)や政策を書き込んだメッセージボードを用意。参加者は、それぞれを手にして都民にデモ行進して訴えました。

高齢者に関する諸問題の改善を図ろう!